

住宅リフォームへの助成制度

日本共産党 市戸 ゆたか

【質問】景気対策としての住宅リフォーム助成制度について提案してきたが、これまでの検討状況を伺いたい。

【答弁】当該助成制度について、都市建設部では、既に取り組みを行っている他都市の状況の調査を行ったほか、住宅リフォームに係る施策の動向把握等に努め、現在は、助成対象工事や施工業者範囲など制度のあり方の検討をしている。制度として公益性の確保が必要であり、最終的に関係部局で検討し、実施するかどうか判断したい。(市長・都市建設部長)

市立函館高校の姉妹校提携

新生クラブ 佐古 一夫

【質問】韓国高陽市との姉妹都市提携にあわせ、市立函館高校と高陽市の白馬高校の姉妹校提携を積極的に進めてほしいが、教育長の考えはどうか。

【答弁】姉妹校提携を活用した交流活動は、歴史的なつながりが深い韓国について理解を深めたり、多様な情報交換が進められるなど双方の学校にとって教育効果が高く、国際理解教育等子どもたちの資質を高めていくためにも重要な機会と捉えており、相手方や市立函館高校の意向も十分伺いながら進めたい。(教育長)

北海道エアシステムへの支援

民主・市民ネット 見付 宗弥

【質問】北海道エアシステム(HAC)への支援について非公式で5%程度の出資の要請があったとのことだが、具体的な金額は幾らになるのか。

【答弁】北海道が公表したHAC事業プラン(案)では、平成21年度末の累積損失約2億円を無償減資により解消し、新たに2億5000万円程度増資することになっている。増資にあたっての株価は、1株3万1500円で確定したとの連絡があり、仮に5%の出資の場合、約2800万円になると考えている。(港湾建設部長)

格差社会における貧困問題

市民クラブ 本間 新

【質問】格差社会における貧困が進行する中、貧困予備軍、非正規労働者予備軍というような層の方々も多いと思うが、どのように考えるか。

【答弁】生活保護世帯だけではなく、貧困予備軍のほうはかなり多くおられると考えている。経済自体が冷え込み、先行きが見えない中では少しでも安心できる、将来の見通しが立つ、夢を見ることができると社会づくりに向け全力を尽くしていく必要があり、手当てできるものは手当てしながら取り組む必要がある。(市長)

児童虐待防止への対策

公明党 小谷野 千代子

【質問】乳幼児健診などを一度も受診していないことは、児童虐待を疑う信号であると思うが、乳幼児健診未受診児への対応はどのようなものか。

【答弁】乳幼児健診未受診児には受診勧奨の通知のほか、各健診で養育状況や発育・発達に気がなる子、3歳児健診未受診の子には電話や家庭訪問等で養育状況を確認をしているが連絡がつかない場合もある。健診未受診は児童虐待のリスク要因の一つにも挙げられており未受診児の状況把握に一層努めたい。(保健所参事)

学童保育所の保育料の減免

日本共産党 紺谷 克孝

【質問】保育園の保育料の減免を受けていた家庭では子どもを学童保育所に通わせることが困難と考えるが、独自の減免制度を設ける考えはないか。

【答弁】保護者の経済状況にかかわらず希望児童が学童保育所を利用できることが望ましく、所得等を考慮した減免制度は今後検討していくべき課題である。保護者負担の軽減も含め毎年委託料として積み上げていくが、厳しい財政状況下では市独自の減免制度の創設は難しく、国へ制度の拡充を求めている。(教育長)

市内における官民格差

新生クラブ 斉藤 明男

【質問】市職員と民間の給与格差の認識について伺いたい。また厳しい財政状況の中、市職員の給与減額を実施し、人件費を抑制すべきではないか。

【答弁】市職員と市内民間の給与には一定の差はあるが職種、役職段階等の人員構成が異なり単純な比較は難しい。現在人件費総額をどれだけコストダウンできるかの観点から行財政改革を行っており、平成21年度決算では平成16年度に比べ約50億円削減したなど職員数削減を実施することで総人件費抑制に努めたい。(市長)

並行在来線の経営分離問題

民主・市民ネット 日角 邦夫

【質問】平成14年の議会答弁やはこだて活性化アクションプランの中には、並行在来線の経営分離問題が提起されており、今年いきなり出てきた問題ではないと思うがどうか。

【答弁】議会答弁については後で調査させていただきたい。記憶も含め、私自身としては、函館駅・新函館駅について課題にはなるが、当時の社長の発言等々も含め、今までの経過からいって、JRによって経営がなされることになるといような理解でいたるところである。(市長)

鹿児島市との友好都市提携

市民クラブ 北原 善通

【質問】平成19年6月議会の答弁から3年以上経過するが、鹿児島市との友好都市提携への進展状況はどうか。また、今後どのように考えているか。

【答弁】鹿児島市とは平成4年に商工会議所同士が姉妹提携をし、物産展を開催するなど経済分野で交流が進んでいるが、市民レベルの交流までには至っていない。両市には、古くからの人のつながりや港町、路面電車など共通するものがあり、今後どのような交流があるのかつながりをつくらせていきたい。(市長)

地元企業への支援

新生クラブ 工藤 恵美

【質問】もっと集中的に地元企業の支援に力を注ぐべきだとと思うが、市長の考えを聞きたい。

【答弁】経済施策については、これまで公共事業の前倒しなどの対策やものづくり企業への支援などを行っているところであり、今後は函館市産業経済懇話会や年明けに設置を予定している函館市経済活性化戦略会議において、今まさに何が必要かを検討し、地元企業の育成と雇用の場の確保に向けて様々な対策を展開したいと考えている。(市長)